

経 済 統 計 学 会

第 62 回 (2018 年度)

全 国 研 究 大 会 プ ロ グ ラ ム

期 間 : 2018 年 9 月 10 日 (月) ~ 9 月 12 日 (水)

会 場 : 和歌山県民文化会館, 統計データ利活用センター,
和歌山県データ利活用推進センター

日 程

研究大会 9 月 10 日 (月) 9:30~18:30

9 月 11 日 (火) 9:20~16:10

会員総会 9 月 10 日 (月) 15:10~16:10

懇 親 会 9 月 10 日 (月) 19:00~21:00

理 事 会 9 月 9 日 (日) 14:30~17:00

学生研究報告会

9 月 12 日 (水) 9:00~12:00

統計チュートリアルセミナー

9 月 12 日 (水) 13:20~17:00

経済統計学会第 62 回 (2018 年度) 全国研究大会

委員長 和歌山大学観光学部 大井 達雄

〒640-8510 和歌山市栄谷 930

和歌山大学観光学部

TEL / FAX 073-457-8557

E-mail : oitatsuo@center.wakayama-u.ac.jp

9月10日（月）

9:10 受付開始（和歌山県民文化会館小ホールロビー）

9:30 開 会

9:30～12:00 セッションA：企画セッション 和歌山県民文化会館小ホール
国民経済計算の新たな展開

コーディネータ・座長：櫻本 健（立教大学）

1. 鈴木俊光（内閣府経済社会総合研究所）

先進主要国における分配QNA推計の実施状況とその位置づけ

2. 赤木 茅（内閣府経済社会総合研究所）

産業連関表の行部門統合に係る影響の検証

3. 鈴木 晋（内閣府経済社会総合研究所）・小林裕子（エム・アール・アイ リサーチ
アソシエイツ株式会社）

教育の質の変化を反映した実質アウトプット・価格の把握

4. 吉岡真史（内閣府経済社会総合研究所）

シェアリング・エコノミー等新分野の経済活動の計測に関する調査研究

5. 山岸圭輔（内閣府経済社会総合研究所）

法人企業統計を用いた営業余剰の推計

9:30～12:00 セッションB：企画セッション 和歌山県民文化会館大会議室（5F）
人口減少社会における諸課題と地方統計の利活用

コーディネータ・座長：菊地 進（東北・関東支部）

1. 芦谷恒憲（兵庫県企画県民部・兵庫県立大学）

地域統計の政策への活用事例と利用上の課題

2. 御園謙吉（阪南大学）

市町村の類似団体類型に関する一考察

3. 上藤一郎（静岡大学）

結婚の幸福度－静岡県「少子化対策及び結婚等に関する県民意識調査」に基づく
分析－

4. 大澤理沙（釧路公立大学）

介護予防と地域のウォーカービリティに関する考察

5. 森 博美（東北・関東支部）

数量化Ⅳ類による三大都市圏の移動圏分析

12:50~14:50 セッションC：企画セッション 和歌山県民文化会館小ホール

日本の統計史を考える

コーディネータ・座長：小林良行（総務省統計研究研修所）

1. 佐藤正広（一橋大学経済研究所）
杉亨二と統計—維新を生きた蘭学者
2. 上藤一郎（静岡大学）
杉亨二と Haushofer の『統計学教程』
3. 廣嶋清志（東北・関東支部）
旧戸籍簿人口の再現住主義化過程
4. 岩橋正樹（総務省政策統括官（統計基準担当））
我が国の産業分類の変遷～戦前から戦後，そして現在～

13:00~14:30 セッションD：一般報告 和歌山県民文化会館大会議室（5F）

座長：藤井輝明（大阪市立大学）

1. 小西 純・田村朋子（公益財団法人 統計情報研究開発センター）
東京圏における人口増加地域の空間分布の性質
2. 米澤 香・新井郁子・安井浩子（公益財団法人 統計情報研究開発センター）
国勢調査のマイクロデータを用いた新世帯類型の構築
3. 岡部純一（横浜国立大学）
行政記録と統計制度の理論—ヨーロッパとインドの統計改革に関する比較分析

15:10~16:10 会員総会 和歌山県民文化会館小ホール

16:30~18:30 セッションE：共通論題セッション（学会本部企画）

和歌山県民文化会館小ホール

データ利活用推進のための取組と今後の課題

コーディネータ：大井達雄（和歌山大学） 座長：田中 力（立命館大学）

1. 谷道正太郎（総務省統計局・独立行政法人統計センター 統計データ利活用センター）
統計データ利活用センターの活動について
2. 中内啓文（和歌山県データ利活用推進センター）
データ利活用推進への取組について～日本のデータ利活用拠点を目指して～
3. 菊地 進（東北・関東支部）
地方自治体における統計活用と統計データ利活用センターへの期待
4. 森 博美（東北・関東支部）
データの統合利用から見た公的統計の現状と展開可能性

19:00~21:00 懇親会 ガーデンテラスリーフ（ホテルアバローム紀ノ国 1F）

9月11日(火)

9:05 受付開始（和歌山県民文化会館小ホールロビー）

9:20～11:20 セッションF：企画セッション 和歌山県民文化会館小ホール
マイクロデータを用いた実証分析における地域情報の活用可能性

コーディネータ：大井達雄（和歌山大学）・伊藤伸介（中央大学）

座長：小西 純（公益財団法人 統計情報研究開発センター）

1. 栗原由紀子（立命館大学）

生活時間データからみる地域特性について

2. 大井達雄（和歌山大学）

観光経営の季節変動分析

3. 藤岡光夫（静岡大学）

社会調査マイクロデータを利用したSPA法による地域課題分析

4. 村田磨理子（公益財団法人 統計情報研究開発センター）・伊藤伸介（中央大学）・

出島敬久（上智大学）

全国消費実態調査に含まれる居住地情報の活用可能性

9:30～12:00 セッションG：一般報告 和歌山県民文化会館大会議室（5F）

座長：池田 伸（立命館大学）

1. 橋本美由紀（高崎経済大学非常勤講師）

有業介護者の介護支援利用の状況と生活時間

2. 高橋将宜（東京外国語大学経営戦略情報本部）

傾向スコアマッチングの適用による比率代入法の精度向上

3. 坂下信之（総務省 統計研究研修所）

諸外国における統計調査の欠測値補完方法の動向と手法の体系について

4. 坂田幸繁（中央大学）

標本調査データによるモデル・パラメータの推定—尤度利用の実際—

5. 作間逸雄（専修大学）

国民経済計算における雇用者ストックオプションの取り扱いをめぐって

9:20～10:50 セッションH：企画セッション 和歌山県民文化会館中会議室（4F）
生産物分類

コーディネータ・座長：菅 幹雄（法政大学・日本統計研究所）

1. 宮川幸三（立正大学）

生産物分類の必要性と北米生産物分類（NAPCS）

2. 菅 幹雄（法政大学・日本統計研究所）

EUの生産物分類（CPA）について

3. 植松良和・永井一郎・坂田大輔（総務省政策統括官（統計基準担当））

我が国の生産物分類策定の展望

11:00~13:00 セッションI: 企画セッション 和歌山県民文化会館中会議室 (4F)

産業連関計算 (表と分析) I

コーディネータ: 朝倉啓一郎 (流通経済大学)・橋本貴彦 (立命館大学)

座長: 李 潔 (埼玉大学)

1. 李 潔 (埼玉大学)

開放経済 I-O フレームワークによるシングルデフレーション・バイアスに関する研究—JSNA 長期データからの計測と要因分析を含めて—

2. 朝倉啓一郎 (流通経済大学)

最終需要ベクトルの作成方法について

3. 菅 幹雄 (法政大学・日本統計研究所)

産業連関表 (供給・使用表) 作成シミュレーション・モデルの開発

4. 橋本貴彦 (立命館大学)

産業連関分析の応用と経済理論

11:30~13:00 セッションJ: 企画セッション 和歌山県民文化会館小ホール

貧困研究における統計利用

コーディネータ: 水野谷武志 (北海学園大学) 座長: 福島利夫 (東北・関東支部)

1. 村上雅俊 (阪南大学)

2007年『就業構造基本調査』匿名データを用いたワーキングプアの分析

2. 宮寺良光 (田園調布学園大学)

公的統計を用いた貧困問題研究の可能性の検討

3. 水野谷武志 (北海学園大学)

子どもを持つ就業世帯の時間貧困

13:30~15:30 セッションK: 企画セッション 和歌山県民文化会館大会議室 (5F)

ジェンダー統計研究の先端的諸問題

コーディネータ: 伊藤陽一 (東北・関東支部) 座長: 小野寺剛 (環太平洋大学)

1. 吉田仁美 (岩手県立大学)

障害者ジェンダー統計の諸問題

2. 渡辺美穂 (独立行政法人国立女性教育会館)

人身取引をめぐるジェンダー統計の現状と課題

3. 杉橋やよい (金沢大学)

男女間賃金格差の国際比較の試み—指標と国際賃金統計の吟味を通じて—

4. 伊藤陽一 (東北・関東支部)

女性・平和・安全保障とジェンダー統計—安保理決議 1325 の国際・国内的動向の検討を通じて—

13:30~15:30 セッションL: 企画セッション 和歌山県民文化会館小ホール

統計改革に関する動向について

コーディネータ・座長: 谷道正太郎 (総務省統計局・独立行政法人統計センター
統計データ利活用センター)

1. 大浦 修 (総務省政策統括官 (統計基準担当) 付統計企画管理官室)
統計法の改正－調査票情報の二次的利用を中心として－
2. 中村英昭 (総務省統計局物価統計室)
消費者物価指数における借家家賃の経年調整について
3. 杉田貴司・櫻井智章 (総務省統計局消費統計課)
消費動向指数 (CTI) 及び消費動向指数研究協議会の取組状況
4. 高井 勉・武藤杏里・山下雅代 (独立行政法人統計センター)
公的統計マイクロデータ, POSデータ等を用いた消費動向の分析

13:30~16:10 セッションM: 企画セッション 和歌山県民文化会館中会議室 (4F)

産業連関計算 (表と分析) II

コーディネータ: 朝倉啓一郎 (流通経済大学)・橋本貴彦 (立命館大学)

座長: 橋本貴彦 (立命館大学)

1. 楊 淨 (埼玉大学大学院)
WIODによる中国対日・米・欧・アジアの貿易構造分析
2. 張 南 (広島修道大学)
Measuring Global Flow of Funds: A Case Study on China, Japan and the United States
3. 木下英雄 (大阪経済大学)
労働需要変化に対するその諸要因変化の貢献度分析
4. 尹 清洙 (長崎県立大学)
産業連関計算と応用一般均衡分析から見る情報の二重性
5. 泉 弘志 (関西支部)・戴 艶娟 (広東外語外貿大学)・李 潔 (埼玉大学)
日本・中国・韓国・米国の全労働生産性上昇率の計測とその要因分析

お知らせとお願い

1. 研究大会と懇親会にかかわる同封の返信はがきは、8月17日（金）【必着】までに、ご返送願います。また理事の方は、理事会への出欠についても同様にご返事願います。
2. 研究大会の参加費（報告要旨集代金を含む）は、一般会員 3,000 円、院生会員 2,000 円、非会員 4,000 円です。懇親会費は一般会員 4,000 円、院生会員 2,000 円、非会員 5,000 円を別途いただきます。懇親会は当日の受付ができませんので、事前の申込みをお願いします。
3. 報告者の方は、電子メールでお知らせする要領で「報告要旨集」の原稿の送付をお願いします。また報告要旨は、下記の学会ホームページで公開します（8月下旬以降の公開予定）。経済統計学会ホームページ：<http://www.jsest.jp/>
4. 会場配布資料は、各自ご持参いただき、それぞれのセッション会場で係員にお渡しください。事前の郵送等には対応できかねます。
5. 報告時間は質疑を含め 1 報告 30 分とします。企画セッションでは、報告時間の配分・運用が異なる場合があります。詳しくは各セッションのコーディネータ、または座長にご確認ください。会場では PowerPoint（Office 2013、または Office 2016）によるプレゼンテーションが可能です。セッション開始前に準備した PC にファイルをコピーしますので、報告者はファイルを USB メモリ（事前にウィルス対策ソフトによるチェックを済ませておいてください）に入れ、係員にお渡しください。
6. 報告会場では飲食ができません。
7. 大会期間中の昼食については、当日別紙にて案内情報を配布いたします。
8. 理事会を下記の要領で開催します。
日 時：9月9日（日）14:30～17:00
場 所：開催場所（和歌山県民文化会館を予定）については追ってご連絡します。
9. 宿泊については各自で御手配ください。早めの手配をお勧めします。なお、今回の全国研究大会におきまして、和歌山県のコンベンション助成制度、ならびに和歌山市のコンベンション開催補助金を申請する予定です。そのため、和歌山市内の宿泊施設を利用させていただきますようお願いいたします。くわえて、事務局が各参加者に宿泊施設名や宿泊日数をお聞きしますので、ご協力のほどよろしく申し上げます。
10. 不測の事態により、研究大会が予定通り開催できない場合には、学会ホームページや一部の支部ではメーリングリストなどにて本会の対応をお知らせします。また、プログラム発送後の研究大会にかかわる追加的なお知らせ事項等については学会ホームページにて行います。

経済統計学会第 62 回（2018 年度）全国研究大会プログラム委員会		
委員長	大井達雄（関西支部）	
副委員長	橋本貴彦（関西支部）	
委員	水野谷武志（北海道支部）	吉田 央（東北・関東支部）
	伊藤 純（東北・関東支部）	中敷領孝能（九州支部）

大会会場アクセスマップ

和歌山県民文化会館



- 南海電鉄「和歌山市駅」より
 - ・徒歩 約20分
 - ・タクシー 約5分
 - ・バス 約10分(9・10番のりば)
「県庁前」バス停で下車

- JR「和歌山駅」より
 - ・徒歩 約35分
 - ・タクシー 約10分
 - ・バス 約10分(2番のりば)
「県庁前」バス停で下車

※いずれの「バスのりば」から出発する多くのバスが「県庁前」バス停に到着します。詳しくはバスの運転手におたずねください(片道料金 230円)。

<周辺地図>

